

第3回 斐伊川放水路環境モニタリング協議会
～ 4巡目モニタリング調査計画の変更～

平成29年3月1日

モニタリング調査計画の変更

神戸川の現状や委員指摘を受け、来年度以降の調査計画を修正した。平成29年調査の変更箇所を赤字で示す。

保全対策効果の検証

調査項目		調査範囲・地点	調査時期	調査回数
重要な植物調査 (タコノアシ、ミクリ、ミズアオイ)		過年度調査で確認された区域	秋 (開花・結実期)	1回
ワンド調査	物理環境	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	秋～冬	1回
	植生図作成	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	秋～冬	1回
	魚類	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	夏	1回
	底生動物	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	夏	1回
	植物	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	夏	1回
	鳥類	AW1、AW8、AW9、NW1、AW4	春渡り期・ 繁殖期・越冬期	3回

■平成29年調査

▼重要な植物調査（タコノアシ、ミクリ、ミズアオイ）の中止

- ・放水路運用開始3年目現在、放水路モニタリング中に唯一確認されているタコノアシは、継続的に確認されている。
- ・このため、重要な植物調査（タコノアシ、ミクリ、ミズアオイ）については、当初の目的を満たしたと考え、モニタリングを終了する。
- ・なお、タコノアシについては、通常の植物調査でその動向は確認できると考える。
- ・また、大出水後のモニタリングについては、予定通り実施するものとする。

河川環境の変化の把握（全般）

調査項目		調査範囲・地点	調査時期	調査回数
河川環境基図	群落組成調査	調査範囲全域	秋～冬	1回
	植生断面模式図	調査範囲内で7断面	秋～冬	1回
	河川調査（河川形態調査）等	調査範囲全域	秋～冬	1回
	植生図作成	調査範囲全域	秋～冬	1回
水質	定期水質	新崎屋橋、妙見橋、馬木大橋	通年	12回
	放水路下流湛水部	神戸堰上流、古志橋、半分大橋、湛水区域上流、開削部下流	通年	7回
魚類	St1、St2、St3、St4、St5、St6、St7	春・夏・秋	3回	
底生動物	St1、St2、St3、St4、St5、St6、St7	夏・冬	2回	
河床構成材料調査	St1、St2、St3、St4、St5、St6、St7	秋～冬	1回	
植物	St1、St2、St3、St4、St5	春・秋	2回	
鳥類	神戸川：L12+R10=22地点	春渡り期・繁殖期・ 秋渡り期・越冬期	3回	
両生類・爬虫類・哺乳類	St1、St2、St3、St4、St5	春・夏・秋	3回	
陸上昆虫類	St1、St2、St3、St4、St5	春・(初夏)・夏・秋	3回	

■平成29年調査

▼河川環境基図調査 植生図作成の追加

- ・斐伊川放水路環境モニタリングは3年を迎えることから、植生図を作成し、その変移を確認する。

▼その他

- ・放水路における調査については、別途検討している。

河川環境の変化の把握（代表種）

調査項目		調査範囲・地点	調査時期	調査回数	
シジミ調査	定量調査	新崎屋橋上下流の4測線で各3地点	春・秋	2回	
アユ調査	産卵場調査	踏査	神戸堰下流部、 放水路合流点より上流の瀬	秋	4回
		詳細調査	馬木新大橋上流のアユ産卵床整備箇所、 区間調査で主要と思われた地点	秋	1回
	遡上調査	神戸堰両岸	春～初夏	10回	
	仔アユ降下調査	神戸堰上下流	秋	2回	
	付着藻類調査	馬木吊り橋付近	夏	1回	

■平成29年調査

現在のところ、変更についての予定はない。

上記調査を実施する予定ではあるが、産卵場調査（詳細調査）の内容については、関係者と協議・調整して決定する。